

## 令和2年度総合型選抜における出題ミスについてのお知らせとお詫び

令和元年11月20日、就実大学

令和元年10月19日に実施いたしました総合型選抜（基礎学力重視型）におきまして、人文科学部・教育学部・経営学部の「適性検査」（英語）の問題に出題ミスが見つかりましたので、その内容をお知らせするとともに、受験生の皆様並びに関係各位に深くお詫び申し上げます。

### 記

#### 1. 出題ミスの内容

第1問の問3（設問13）において、「本文中で使われているA～Cの各単語の最も強いアクセント（第一強勢）が異なる単語を①～④の選択肢から1つ選びなさい」という問いに対して選択肢をそれぞれ4つ与えていた。Cの単語の選択肢で、①を「de-cribe」とすべきところを「de-scibe」としていた。アクセントを問う問題で選択肢に間違った単語があったということで、混乱を招いてしまった。

#### 2. 出題ミス発見の経緯

10月23日13時頃、受験した生徒が在籍する高校の進路課から問い合わせがあって判明した。

#### 3. 当該科目の受験者

166名（人文科学部46名、教育学部79名、経営学部41名）

#### 4. 出題ミスへの対応

全員を正解とする。合格発表前で合否判定は、それを修正した資料で行った。

#### 5. 今後の改善策

問題作成に当たっては複数教員による校正・確認を実施してきたが、今回の出題ミスを受けて入試問題のチェック方法等を再検討し再発防止に努める。

#### 6. 文部科学省への報告等

令和元年10月28日付で、この件に関し、文書にて文部科学省へ出題ミスの報告をおこなった。